

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分		専門分野	授業の方法	講義演習	
科 目 名		成人看護学概論		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	16	(1) 時間(単位)
対 象 学 年		1年次		学期及び曜時限		後期	教室名	各教室	
担 当 教 員		岡田香代子	実務経験と その関連資格	総合病院の消化器外科病棟・外来、医院(有床)で看護師として勤務					
《授業科目における学習内容》									
成人期にある人の特徴についてライフサイクルの視点から理解するとともに、成人の多様な健康状態や健康問題について理解する。また、成人看護に有用な基本的概念や理論を理解し、成人への看護アプローチの基本的考え方を学ぶ。									
《成績評価の方法と基準》									
筆記試験、出席状況と授業への参加状況・レポート課題で評価する									
《使用教材(教科書)及び参考図書》									
専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学① 医学書院 系統看護学講座 国民衛生の動向 厚生労働統計協会									
《授業外における学習方法》									
授業終了後、教科書を読んで、用語の定義と意味の理解を復習しておきましょう。国民衛生の動向を活用しますので、統計の図表、解説も読んで授業に臨んでください。									
《履修に当たっての留意点》									
教科書の用語や事例を自分自身の身近な大人、成人を思い浮かべながら、学習していくと内容の理解が促進します。									
授業の方法			内 容				使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策について説明できる				教科書 国民衛生の動向	教科書を事前に読んで予習しておく。	
		各コマにおける授業予定	1)保健統計からみた成人の健康の動向 2)成人を対象とした保健・医療・福祉政策						
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	成人各期(青年期・壮年期、中年期、向老期)の身体的・心理的・社会的特徴が説明できる。				教科書	成人各期の特徴を身近な成人期の人を想起しておく。	
		各コマにおける授業予定	成人各期に特徴的な健康問題。グループワーク						
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	成人各期(青年期・壮年期、中年期、向老期)の身体的・心理的・社会的特徴特徴を、資料にまとめたことを説明できる。				教科書	課題レポート 成人各期の特徴を身近な成人にインタビューして、グループワークに臨む。	
		各コマにおける授業予定	成人各期の特徴。グループ発表						
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人の生活と健康の特徴について説明できる。				教科書 国民衛生の動向	環境が健康にどんな影響を及ぼすか課題レポート	
		各コマにおける授業予定	成人の生活と健康の理解 1)成人を取り巻く環境 ・健康の状況						
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人の生活習慣と健康問題の関連を理解し、生活習慣病予防の対策が説明できる。				教科書 国民衛生の動向	授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	1)生活習慣病とその予防・対策 2)就業・労働形態の変化がもたらす健康問題 3)嗜好がもたらす健康問題 4)身体活動量低下と運動不足 5)肥満 6)職業性疾患とその予防						

第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人学習者へ看護援助を実施するために必要な理論について理解できる。	教科書資料	授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	1)成人学習者(アンドラゴジー) 2)ケアリング 3)危機理論・ストレとコーピング 4)セルフケア理論		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人の看護に必要な基本的アプローチを説明することができる。	教科書資料	授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	成人への看護アプローチの基本 1)健康行動への行動変容：自己効力、アンドラゴジー 2)自己決定		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	成人の看護に必要な基本的アプローチを説明することができる。	教科書	授業で学んだ内容を復習し、予定の範囲の教科書を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	3)適応 4)障害受容 5)エンパワメント		